

第5回伊佐市新庁舎建設検討委員会

- 開催日時 平成30年8月9日 13時30分～16時20分
- 開催場所 伊佐市役所大口庁舎 大会議室 及び 検討地各所
- 出席委員 小山委員、丸田委員、中村委員、村田委員、池畑委員、長野委員、田代委員、曾山委員、岡本委員、沖田委員
- 欠席委員 轟木委員、左近充委員
- 事務局 財政課 富満課長、財産管理活用係 釜場係長、向園、遠矢

===会次第===

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 伊佐市新庁舎建設基本構想（素案）答申書案について
 - (2) 新庁舎建設候補地の検討について（検討地視察）
- 4 その他
- 5 閉会

===議事===

- (1) 伊佐市新庁舎建設基本構想（素案）答申書案について

【事務局】

答申書案について説明

【委員長】

事務局から答申書案についての説明があったが、ご意見等はないか。

特にないようなので、決議に入る。答申書案のとおり答申することにご異議はないか。

（「異議なし」という、多数の声あり）

【委員長】

この答申書案のとおり答申することとする。

【事務局】

後日、委員長から市長へ答申をいただくことになる。答申と付帯意見を踏まえ、市において基本構想（案）を最終決定し、市民の皆様への意見募集（パブコメ）を経て基本構想を策定し、公表という流れになっていく。

- (2) 新庁舎建設候補地の検討について（検討地視察）

【事務局】

検討地視察資料について説明

《視察》

①「2 菱刈庁舎」 ⇒ ②「3 重留（旧国本会所有地）」 ⇒ ③「6 新町線付近」（車窓） ⇒ ④「5 合庁周辺」 ⇒ ⑤「4 ふれあいセンター周辺」

《視察後、大口庁舎大会議室にて》

【委員長】

今後、候補地の選定を進めていくことになる。ある程度時間をかけて選定作業を行っていくことになるのだろうと思う。次回会議以降で、各検討地についての検討や評価方法などを審議していきたい。

今日は、委員の皆様それぞれ検討地の印象を持ち帰っていただき、論点等を整理してもらい、次回会議以降で協議していきたいと思うが、今日のうちに協議したいことなどがあればご発言いただきたい。

【委員】

建設の前提条件として急傾斜地や文化財埋蔵地は外した。あとは、極力すべてを集約できる候補地を重点に調べて、2つの候補地に絞った。

【委員】

一部民有地とあるが、評価額を知りたい。土地を借りるとしたらいくら掛かるのかも知りたい。

【委員】

土地の交換という考え方もあるのではないか。

【委員】

人の流れがどうなっていくのかということを考える必要がある。仮庁舎を造る場合の工期や費用も知りたい。

【委員】

どの程度の広さの民有地を購入すれば 8,000㎡の広さになるのか。

【事務局】

議論を整理させていただきたい。8,000㎡は延床面積。(新町線付近を除き)民有地を含めなくても、検討地にはすべて8,000㎡の建物は建つ。ただし、平屋か複数階建てかにもよる。また、民有地の購入や仮庁舎移転の費用等については、まずは、計画地の留意点を基にした候補地としてどこがふさわしいのかが決まってからのご議論となる。

【委員】

いまの商店街は、大型店と市役所やふれあいセンターなどの公共施設との間にあり、医療機関もいくつかあり、人の流れがいい状態である。伊佐のこれだけの人口の街でシャッター商店街になっていないのは、県内でも少ない。他所でシャッター商店街になっているのは、離れたところに大型店があるから。伊佐市のようにない。伊佐市の非常にいい人の流れ。一度商店街が壊れたら、再構築はまず無理。人がいなくなる。伊佐の人の流れは守った方がいいと思う。

【委員長】

具体的な議論は次回以降となる。方向性としては、5つの観点があるが重みづけがないので、伊佐の将来を考えたいうえで重視すべき観点などを整理して、どのように決めていくのかを議論していきたい。個別の検討地についてここはこうだとかどうだとかあると思うが、そこを最終的に委員会で評価して結論を出すわけなので、その評価方法につ

いて議論いただければと思う。ほかに何もなければ引き続き継続審議としていく。本日の議題は以上。

===閉会===